

内灘高だより

令和5年度
第12号
NO. 1



時を守り、場を清め、礼を正

うち なた こう

(UD デジタル教科書体 font 使用)

令和5年度 表彰伝達式・記念品贈呈式・同窓会入会式 令和6年2月29日(木)



<表彰式受賞者> 代表生徒
 ・功労賞 宮本 碧(31H) 北岡マリア(32H) 山下翔太郎(32H)
 ・奨励賞 水瀧龍成(32H) 上田勇煌(32H)
 ・3ヶ年皆勤 谷口新結(31H) 石島侑依(32H) ・1ヶ年皆勤 岩崎聖奈(32H)

受賞された皆さんおめでとうございます！
卒業後も頑張ってください！

第11回 内灘町町長賞授与式



受賞理由：北岡マリア選手は、令和4年度・令和5年度の全国高校総体自転車競技大会において、500m タイムトライアルで2年連続で優勝したのをはじめ、各種大会で輝かしい結果を残しました。

山下翔太郎選手は、トップクラスの学業成績を3年間維持しました。令和5年度の全国高校総体およびかごしま国体自転車競技大会において、1kmタイムトライアルとともに優勝し、各種大会でも輝かしい結果を残しました。

自転車競技で全国に内灘町の名前を広げました！

第36回 卒業証書授与式 (3/1)

卒業式は川口内灘町町長、七田内灘町議会議長、桐山内灘町教育長、山下PTA会長、山上同窓会長、小村内灘中学校校長、福塚千鳥台町会長のご臨席のもと始まりました。卒業生を呼名し、生徒一人ひとりに卒業証書を手渡しました。小篠校長から「主体的に【学び続ける】、【自分ごと】として考える、身につけた知識を自分だけのものにせず、社会に貢献・協力できる大人になってもらいたい。」と式辞がありました。送辞は生徒会会長の山田怜奈(2年 森本中出身)、答辞は3年生軽音楽部部长宮本碧(内灘中出身)「これから自立した大人として、周囲を支えていける人間になる」と誓いました。多くの保護者の皆様、ご参列いただきありがとうございました。「ご卒業おめでとうございます」





内灘高だより

時を守り、場を清め、礼を正す

令和6年度前期生徒会役員選挙

次年度前期生徒会役員に11名の生徒が立候補し、立会演説会をおこないました。演説後にクラスに戻り投票をおこなった結果、全員が信任されました。



- | | |
|-----|-----------|
| 会長 | 山田怜奈(2年) |
| 副会長 | 京墓 雅(1年) |
| 副会長 | 橋本優李(1年) |
| 副会長 | 出島優輝(2年) |
| 副会長 | 恒吉 樹(2年) |
| 書記 | 東野心美(1年) |
| 書記 | 新谷鼓太郎(1年) |
| 書記 | 岩崎 絆(2年) |
| 会計 | 徳中詩織(1年) |
| 会計 | 福田真唯(1年) |
| 会計 | 石丸広行(1年) |

スポーツ大会 2024



3月18日(月)に老若男女問わずに取り組むことができるニュースポーツ大会がおこなわれました。ルールも簡単で、大きく身体を使うことがないので楽しく体験することができます。今回は、ボッチャ、ドッチビー、フラバレーボール、キネットの4種目の楽しさを味わいながら、1,2年生の生徒同士の交流を深めることを目的におこなわれました。

～うちわに願いを込めて～

校長 小篠 聡



私の思いや願いを生徒に伝えるときにうちわ(団扇)にメッセージを書き込んでいます。始業式や終業式で、私の願いを込めたうちわをかざし、少しでも生徒の心に届いてくれればと思っています。

相手に伝わる挨拶・・・「社会」に参加する上でとても大切なのは「挨拶」。

人が2人以上で何かをすると「社会」が存在します。ひとりの「社会」、孤独の「社会」はありません。「社会」で誰かと協力したり頑張ったりするには、まずはお互いの心を通じ合わせる「挨拶」が必要となります。

進塁・・・一つひとつの塁を確実に進塁して夢実現に向けて頑張らしましょう。先生方はみなさんをバックアップしていきます。

自分のことを好きになる・・・自分自身を好きになると「自信」に繋がります。

「自信」がつくと考え方が変わり、とても前向きになります。もっと知りたい、もっと深く学びたいなど良い方向に変わりたいという気持ちが出てきます。

自分ごとにする・・・何事も「自分ごと」にするということは、当事者意識を持って物事に取り組むということです。自分ごととして取り組める人は、主体的な行動をとり自己責任で動くことができます。

う・ち・な・だア～・・・これはアントニオ猪木さんの決め台詞「元気があれば何でもできる！

1・2・3・だア～！」を「うちなだ」バージョンに変えてみました。総体・総文の壮行会や海岸清掃前に、校長から選手(生徒)に闘魂を注入する、激励するときに使っています。さあみなさん!右手にこぶしを作って斜め上に突き上げましょう!「う・ち・な・だア～!」平成29・30年度の2年間は教頭として、令和4・5年度は校長として、内灘高校で勤務させていただきました。生徒、教職員とともに「地域から信頼され、必要とされる学校」と認められるような取り組みをおこなってきました。「内灘町に内高があって良かった」と思ってもらうためです。充実した4年間でした。ありがとうございました。

